3月の星空

しょさんべつ天文台

２１日は春分。寒さもゆるんで日差しはどんどん強くなり、気温も徐々に高くなってきます。

冬の星座は少し西に傾き、冬の大三角は南西に見えています。冬の星座には明るい星が多く、星雲や星団もたくさん見られます。東の空には春の星座が見えていて、北斗七星が高くなってきました。かみのけ座、おとめ座、しし座、おおぐま座には数多くの銀河があります。

日没後太陽が沈んだあたりから左上にかけて淡い光の帯（黄道光）が見えます。これは太陽の周りにあるチリが太陽の光で光ったもので、春の夕方と秋の明け方によく見えます。

春は流星の少ない時期ですが、時々火球という明るい流星が見られることもあります。

惑星は、土星が23日に地球に最接近し8月まで見えます。今年の環はまだ薄いですが良く見えています。火星は少しずつ遠ざかっていて小さくなってきましたが、まだ模様を見ることは可能です。水星と木星は太陽に近く、金星は夕方の西空にありますが、何れも観望には適しません。

３月の太陽・月と主な惑星の出没

日	太陽 出	太陽 没	月 出	月 没	金星 出	金星 没	火星 出	火星 没	木星 出	木星 没	土星 出	土星 没	月の状況	
1	06:09	17:18	18:16	05:56	06:43	20:15	13:23	05:01	06:15	17:10	19:02	07:19	◎満月	1・30日
11	05:52	17:31	03:34	12:55	06:29	18:41	12:42	04:18	05:41	16:34	18:18	06:38	○下弦	8日
21	05:33	17:44	07:40	23:44	06:14	19:07	12:07	03:38	05:07	16:17	17:35	05:58	●新月	16日
31	05:14	17:56	19:43	05:41	06:00	19:35	11:39	03:02	04:33	15:50	16:56	05:17	○上弦	23日

ご　利　用　案　内

木曜から月曜日　１０：００～１９：００
水曜日　１０：００～１７：００
◎火曜日と水曜日の１７：００以後は休館です。

天候が悪い場合や事業等で観望できないこともありますので、事前に確認してください

電話　０１６４（６７）２５３９
E-mail　shosanbe@hokkai.or.jp
URL= http://www.hokkai.or.jp/shosanbe/index1.html

10時～19時			休館日		10時～17時	
日	月	火	水	木	金	土
28	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31	1	2	3

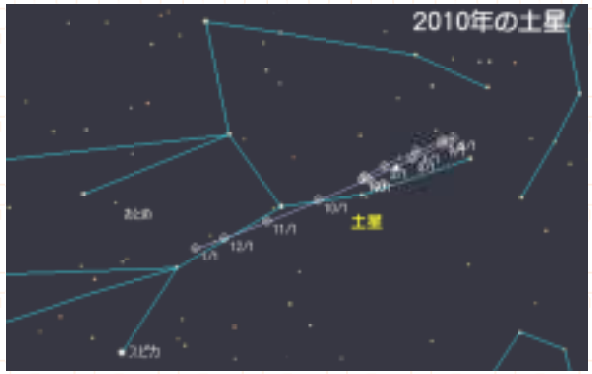
３月の天文カレンダー

1(月)	○満月／月が赤道通過、南半球へ 木星が合（以後明け方の空）	17(水)	天王星が合（以後明け方の空） 月と金星が接近（夕方の西空）
2(火)	休館日 月が土星の南を通過	18(木)	
3(水)		19(金)	
4(木)		20(土)	春分（太陽黄経0°）
5(金)		21(日)	月とプレアデス星団がならぶ（夕方の西空）
6(土)	啓蟄（太陽黄経345°）	22(月)	月が最北（赤緯＋25°25′）
7(日)		23(火)	休館日／○上弦 土星が衝（おとめ座で0.5等）
8(月)	○下弦 月が最南（赤緯－25°34′）	24(水)	
9(火)	休館日	25(木)	月が火星の南を通過
10(水)		26(金)	
11(木)		27(土)	
12(金)	月の距離が最遠（40万6009km）	28(日)	月の距離が最近（36万1877km）
13(土)		29(月)	月が赤道通過、南半球へ
14(日)	水星が外合（以後夕方の空）	30(火)	休館日 ○満月
15(月)	月が赤道通過、北半球へ		月が土星の南を通過
16(火)	休館日／●新月	31(水)	

月の目玉

●土星が衝

惑星界の人気者・土星が23日におとめ座で地球に最接近します。土星といえば大きな環がシンボルで、今年はまだ環が細いですが、夏になれば土星らしい環が見えるようになります。昨年までは南半球が地球に向いていましたが、これからしばらくは北半球が地球に向いています。環の傾きは年々大きくなるので、毎年続けて観察すると環が開いていくようすを観察できます。今年は8月上旬まで見ることができます。



●夕空で月と金星の接近

太陽の近くでしばらく見えなかった金星が、夕方の西空低く見えるようになってきました。とは言っても日没後1時間少々で沈んでしまいますから、観望にはまだ適しません。この金星が17日に月れい1.5の細い月とならんで見えます。月は見つけにくいので、まず金星を見つけて、その右上を注意深く探せば糸のように細い月が見つかるでしょう。金星と月は6°離れていますが、7倍前後の双眼鏡（視野7°）でぎりぎりいっぱいにはいる角度です。また、21日には月れい5.5の月とプレアデス星団がならんで、夕焼け空の中で美しい眺めになるでしょう。こちらも視野7°の双眼鏡でいっしょに見えます。

天文クイズ

もんだい１
昨年、土星に驚くほど大きなアレが見つかりました。アレってなに？
①竜巻　②衛星　③環　④大赤斑

もんだい２
春の星座の一つにおおぐま座があり、この中に北斗七星というひしゃくのような並びの星があります。この形っていつまでも変わらない
①120年後に北斗六星になる　②少しずつ形が変わる
③全く変わらない　④1万年後に消滅する